

第872回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成27年10月13日（火）午後2時から

場 所：県行政庁舎16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第871回教育委員会会議録の承認について

4 第872回教育委員会会議録署名委員の指名

5 議 事

- | | | |
|-------|---------------------|-----------|
| 第1号議案 | 県立特別支援学校学則の一部改正について | (特別教育支援室) |
| 第2号議案 | 宮城県立高等学校学則の一部改正について | (高校教育課) |
| 第3号議案 | 宮城県生涯学習審議会委員の人事について | (生涯学習課) |

6 課長報告等

- | | | |
|-----|---|---------------|
| (1) | 平成27年度みやぎ教育の日推進大会の開催について | (総務課) |
| (2) | 平成26年度における児童生徒の問題行動等に関する調査〔いじめを除く〕
(宮城県分)の結果について | (義務教育課・高校教育課) |
| (3) | 「志フォーラム2015～志が未来をひらく講演会～」の開催について | (義務教育課) |
| (4) | 平成27年度みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城2015」の開催に
ついて | (高校教育課) |

7 資料（配付のみ）

- | | | |
|-----|-------------------------------------|-----------|
| (1) | 教育庁関連情報一覧について | (総務課) |
| (2) | みやぎ単元問題ライブラリー「算数チャレンジ大会2015」の結果について | (義務教育課) |
| (3) | 平成28年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項について | (高校教育課) |
| (4) | 平成28年3月卒業予定者の就職内定状況について | (高校教育課) |
| (5) | 第70回国民体育大会の結果について | (スポーツ健康課) |
| (6) | 宮城県美術館特別展「ピカソ展」の開催について | (生涯学習課) |
| (7) | 第57回北海道・東北ブロック民俗芸能大会の開催について | (文化財保護課) |

8 次回教育委員会の開催日程について

9 閉会宣言

第1号議案

県立特別支援学校学則の一部改正について

県立特別支援学校学則(昭和43年宮城県教育委員会規則第6号)の一部を別紙のとおり改正する。

平成27年10月13日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

県立特別支援学校学則の一部を改正する規則
 県立特別支援学校学則（昭和四十三年宮城県教育委員会規則第六号）の一部を次のように改正する。
 第十四条中「宮城県立支援学校小牛田高等学園」を「宮城県立支援学校小牛田高等学園
 宮城県立支援学校女川高等学園」に改め
 る。

別表第一の表中

宮城県立支援学校小牛田高等学園	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校小牛田高等学園	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校女川高等学園	知的障害者に対する教育

を

に改める。

別表第三第二号の表宮城県立光明支援学校の項中

六〇	五六	六七
を	四六	六〇
五六	に改	

め、同表宮城県立小松島支援学校の項中

三二	三五	三〇
を	三五	三二
三五	に改め、同表宮城	

に改め、同表宮城

県立西多賀支援学校の項中

一四
一一

を

一一
一四

に改め、同表宮城県立石巻支援

学校の項中

四六
四四
三五

を

三八
四六
四四

に改め、同表宮城県立気仙沼支援学校の項中

二二
一九
二七

を

一九
二二
一九

に改め、同表宮城県立名取支援学校の項中

三八
四一

を

四六
三八

に改め、同表宮城県立迫支援学校の項中

二七
二二
三二

を

一九
二七
二二

に改め、同表宮城県立金成支援学校の項中

二四
二二

を

一六
二四

に改め、同表宮城県立古川支援学校の項中

三五
二七

を

三五
三五

に改め、同表宮城県立山元支援学校の項中

二二
一四

を

三〇
二二

に改め、同表宮城県立利府支援学校の項中

四三
三八

を

三〇
四三

に改め、同表中

宮城県立支援学校岩沼高等学園	産業技術科	三年	四〇	四八	四〇
宮城県立支援学校小牛田高等学園	普通科	三年	二四	一六	一六

を

宮城県立支援学校岩沼高等学園	産業技術科	三年	四〇	四〇	四八
川崎キャンパス	産業技術科	三年	八		
宮城県立支援学校小牛田高等学園	普通科	三年	二四	二四	一六
宮城県立支援学校女川高等学園	産業技術科	三年	二四		

に改める。

附則
この規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

改正後

第一条～第十三条（略）
 第一四条 寄宿舎を付置する学校は、次のとおりとする。
 宮城県立視覚支援学校
 宮城県立聴覚支援学校
 宮城県立船岡支援学校
 宮城県立支援学校岩沼高等学園
 宮城県立支援学校小牛田高等学園
 宮城県立支援学校女川高等学園
 第一五～第一七条（略）
 別表第一（第一条の二関係）（略）

学 校 名	教育の種別
宮城県立視覚支援学校	視覚障害者に対する教育
宮城県立聴覚支援学校	聴覚障害者に対する教育
宮城県立聴覚支援学校 小牛田校	聴覚障害者に対する教育
宮城県立光明支援学校	知的障害者に対する教育
宮城県立小松島支援学校	知的障害者に対する教育
宮城県立拓桃支援学校	肢体不自由者及び知的障害者に対する教育
宮城県立西多賀支援学校	病弱者に対する教育

改正前

第一条～第十三条（略）
 第一四条 寄宿舎を付置する学校は、次のとおりとする。
 宮城県立視覚支援学校
 宮城県立聴覚支援学校
 宮城県立船岡支援学校
 宮城県立支援学校岩沼高等学園
 宮城県立支援学校小牛田高等学園
 第一五～第一七条（略）
 別表第一（第一条の二関係）（略）

学 校 名	教育の種別
宮城県立視覚支援学校	視覚障害者に対する教育
宮城県立聴覚支援学校	聴覚障害者に対する教育
宮城県立聴覚支援学校 小牛田校	聴覚障害者に対する教育
宮城県立光明支援学校	知的障害者に対する教育
宮城県立小松島支援学校	知的障害者に対する教育
宮城県立拓桃支援学校	肢体不自由者及び知的障害者に対する教育
宮城県立西多賀支援学校	病弱者に対する教育

改正後

宮城県立利府支援学校	宮城県立山元支援学校	宮城県立船岡支援学校	宮城県立古川支援学校	宮城県立金成支援学校	宮城県立迫支援学校	白石校	宮城県立角田支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校
知的障害者に対する教育	対する教育 病弱者及び知的障害者に	肢体不自由者に対する教育	知的障害者に対する教育								

改正前

宮城県立利府支援学校	宮城県立山元支援学校	宮城県立船岡支援学校	宮城県立古川支援学校	宮城県立金成支援学校	宮城県立迫支援学校	白石校	宮城県立角田支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校
知的障害者に対する教育	対する教育 病弱者及び知的障害者に	肢体不自由者に対する教育	知的障害者に対する教育								

改正後

宮城県立利府支援学校 富谷校	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校岩沼高 等学園	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校岩沼高 等学園川崎キャンパス	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校小牛田 高等学園	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校女川高 等学園	知的障害者に対する教育

別表第二（第二条関係）
別表第三（第二条関係）
（略）
二 一 高等部

宮城県立視覚支援学校			学 校 名	
産業工芸科	保健医療科	普通科	学 科	
三年	三年	三年	年 限	修 業
八	八	一一	学 年 第一	収 容 定 員
八	八	一一	学 年 第二	
八	八	一一	学 年 第三	

改正前

宮城県立利府支援学校 富谷校	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校岩沼高 等学園	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校小牛田 高等学園	知的障害者に対する教育

別表第二（第二条関係）
別表第三（第二条関係）
（略）
二 一 高等部

宮城県立視覚支援学校			学 校 名	
産業工芸科	保健医療科	普通科	学 科	
三年	三年	三年	年 限	修 業
八	八	一一	学 年 第一	収 容 定 員
八	八	一一	学 年 第二	
八	八	一一	学 年 第三	

改正後

宮城県立迫支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校	宮城県立西多賀支援学校	宮城県立小松島支援学校	宮城県立光明支援学校	宮城県立聴覚支援学校		
普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理容科	被服科	ム科 機械システ
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
一九	二七	四六	一九	三八	一一	三五	四六	八	八	八
二七	二七	三八	二二	四六	一一	三二	六〇	八	八	八
二二	二七	四一	一九	四四	一四	三五	五六	八	八	八

改正前

宮城県立迫支援学校	宮城県立角田支援学校	宮城県立名取支援学校	宮城県立気仙沼支援学校	宮城県立石巻支援学校	宮城県立西多賀支援学校	宮城県立小松島支援学校	宮城県立光明支援学校	宮城県立聴覚支援学校		
普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	理容科	被服科	ム科 機械システ
三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
二七	二七	三八	二二	四六	一一	三二	六〇	八	八	八
二二	二七	四一	一九	四四	一四	三五	五六	八	八	八
三二	二七	四一	二七	三五	一一	三〇	六七	八	八	八

改正後

宮城県立金成支援学校	普通科	三年	一六	二四	二二
宮城県立古川支援学校	普通科	三年	三五	三五	二七
宮城県立船岡支援学校	普通科	三年	二〇	二〇	二〇
宮城県立山元支援学校	普通科	三年	三〇	二二	一四
宮城県立利府支援学校	普通科	三年	三〇	四三	三八
宮城県立支援学校岩沼高等学園	産業技術科	三年	四〇	四〇	四八
川崎キャンパス	産業技術科	三年	八		
宮城県立支援学校小牛田高等学園	普通科	三年	二四	二四	一六
宮城県立支援学校女川高等学園	産業技術科	三年	二四		

三 (略)
第一号様式、第六号様式

(略)

改正前

宮城県立金成支援学校	普通科	三年	二四	二四	二二
宮城県立古川支援学校	普通科	三年	三五	三五	二七
宮城県立船岡支援学校	普通科	三年	二〇	二〇	二〇
宮城県立山元支援学校	普通科	三年	三〇	二二	一四
宮城県立利府支援学校	普通科	三年	四三	四三	三八
宮城県立支援学校岩沼高等学園	産業技術科	三年	四〇	四〇	四八
宮城県立支援学校小牛田高等学園	普通科	三年	二四	二四	一六

三 (略)
第一号様式、第六号様式

(略)

県立特別支援学校学則の一部改正の概要について

(宮城県立岩沼高等学園川崎キャンパス・宮城県立支援学校女川高等学園関係)

1 改正主旨

平成28年4月に開校する「宮城県立特別支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス」及び「宮城県立支援学校女川高等学園」に関する所要の事項を定めるもの。

2 改正内容

(1) 教育の種別

別表第一（第一条の二関係）

学校名	教育の種別
宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス	知的障害者に対する教育
宮城県立支援学校女川高等学園	知的障害者に対する教育

(2) 高等部の設置

別表第三（第二条関係）

学校名	学科	修業年限	収容定員		
			第1学年	第2学年	第3学年
宮城県立支援学校岩沼高等学園川崎キャンパス	産業技術科	3年	8		
宮城県立支援学校女川高等学園	産業技術科	3年	24		

(3) 寄宿舎の付置

第14条 寄宿舎を付置する学校は、次のとおりとする。

(省略)

宮城県立支援学校女川高等学園

3 施行期日

平成28年4月1日

県立特別支援学校学則の一部改正の概要について

1 改正の趣旨

平成28年度県立特別支援学校高等部の入学希望者数等を勘案し、収容定員を変更するもの。

2 改正内容

(単位：人)

	学 校 名	学 科	収 容 定 員								増減
			改 正 前				改 正 後				
			第1学年	第2学年	第3学年	計	第1学年	第2学年	第3学年	計	
1	光明支援学校	普 通 科	60	56	67	183	46	60	56	162	△21
2	小松島支援学校	普 通 科	32	35	30	97	35	32	35	102	5
3	西多賀支援学校	普 通 科	11	14	11	36	11	11	14	36	—
4	石巻支援学校	普 通 科	46	44	35	125	38	46	44	128	3
5	気仙沼支援学校	普 通 科	22	19	27	68	19	22	19	60	△8
6	名取支援学校	普 通 科	38	41	41	120	46	38	41	125	5
7	迫支援学校	普 通 科	27	22	32	81	19	27	22	68	△13
8	金成支援学校	普 通 科	24	22	22	68	16	24	22	62	△6
9	古川支援学校	普 通 科	35	27	27	89	35	35	27	97	8
10	山元支援学校	普 通 科	22	14	14	50	30	22	14	66	16
11	利府支援学校	普 通 科	43	38	38	119	30	43	38	111	△8
12	岩沼高等学園	産業技術科	40	48	40	128	40	40	48	128	—
13	岩沼高等学園 川崎キャンパス	産業技術科	—	—	—	—	8	—	—	—	8
14	小牛田高等学園	普 通 科	24	16	16	56	24	24	16	64	8
15	女川高等学園	産業技術科	—	—	—	—	24	—	—	—	24
	収容定員を変更しない3校の計 (視覚・聴覚・角田・船岡)		98	98	98	294	98	98	98	294	—
	合 計		522	494	498	1,514	519	522	494	1,535	21

3 施行期日 平成28年4月1日

第2号議案

宮城県立高等学校学則の一部改正について

宮城県立高等学校学則（昭和25年宮城県教育委員会規則第33号）の一部を別紙のとおり改正する。

平成27年10月13日提出

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

宮城県立高等学校学則の一部を改正する規則
 宮城県立高等学校学則（昭和二十五年宮城県教育委員会規則第三十三号）の一部を次のように改正する。

別表第一第一号の表宮城県水産高等学校の項中

海洋総合科 情報科学科	三年 三年	男女 男女	一六〇 一六〇	一六〇 一六〇	一二〇 四〇
----------------	----------	----------	------------	------------	-----------

を

海洋総合科	三年	男女	一六〇	一六〇	一六〇
-------	----	----	-----	-----	-----

に改め、

同表宮城県石巻工業高等学校の項中

機械制御科 機械科	三年 三年	男女 男女	八〇 八〇	八〇 八〇	八〇
--------------	----------	----------	----------	----------	----

を

機械科	三年	男女	八〇	八〇	八〇
-----	----	----	----	----	----

に改め、

同表宮城県気仙沼高等学校の項中

二八〇

を

二四〇

に改め、同表宮城県気仙沼西高等学校の項中

四〇〇	四〇〇	八〇〇
四〇〇	四〇〇	八〇〇

四〇
四〇

を

—
四〇

に改め、同表宮城県登米総合産業高等学校の項中

普通科 三年	普通科 三年
男女	男女
四〇	二四〇
—	二八〇
—	二八〇

に改め、同表宮城県登米高等学校の項中

普通科 三年
男女
二八〇
二八〇
二八〇

を

一六〇
二〇〇

を

—
一六〇

に改め、同表宮城県多賀城高等学校の項中

一二〇
一二〇
一二〇

を

八〇
一二〇
一二〇

に改め、同表宮城県角田高等学校の項中

二〇〇

を

一六〇

に改め、同表宮城県岩ヶ崎高等学校の項中

四〇
四〇
四〇

を

—
四〇
四〇

に改め、

同表宮城県鹿島台商業高等学校の項の次に次のように加える。

宮城県蔵王 高等学校	普通科三年	男女	八〇	—	—
---------------	-------	----	----	---	---

別表第一第一号の表宮城県松島高等学校の項中

—	二〇〇
---	-----

を

—	二〇〇
八〇	—

に改め、同表宮城県志津川高等学校の項中

—	二〇〇
—	二〇〇
—	二〇〇

を

八〇	—	—
—	二〇〇	—
—	—	二〇〇

に改める。

別表第一第二号の表宮城県白石高等学校の項の次に次のように加える。

宮城県角田高等学校	普通科	三年	男女	一六〇		
-----------	-----	----	----	-----	--	--

別表第一第二号の表宮城県蔵王高等学校の項中

一一〇	一一〇	一一〇
-----	-----	-----

を

—	一一〇	一一〇
---	-----	-----

に改める。

別表第二第一号の表宮城県大河原商業高等学校の項中

四〇	八〇
----	----

を

四〇	四〇
----	----

に改める。

この規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

改正後

改正前

第一条～第三十条（略）

第一条～第三十条（略）

別表第一（第一条関係）

別表第一（第一条関係）

一 学年制による全日制の課程

一 学年制による全日制の課程

宮城県石巻工業高等学校	宮城県水産高等学校	（略）	学 校 名	学 科	年 限	修 業 男 女	の 別	学 年 第 一	収 容 定 員
機 械 科 電 気 情 報 科 化 学 技 術 科 土 木 シ ス テ 建 築 科	海 洋 総 合 科	（略）			三 年	男 女	男 女	学 年 第 二	
三 年 男 女	三 年 男 女	（略）			三 年	男 女	男 女	学 年 第 三	
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 六 〇				
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 六 〇				
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 六 〇				

宮城県石巻工業高等学校	宮城県水産高等学校	（略）	学 校 名	学 科	年 限	修 業 男 女	の 別	学 年 第 一	収 容 定 員
機 械 制 御 科 機 械 科 電 気 情 報 科 化 学 技 術 科 土 木 シ ス テ 建 築 科	海 洋 総 合 科 情 報 科 学 科	（略）			三 年	男 女	男 女	学 年 第 二	
三 年 男 女	三 年 男 女	（略）			三 年	男 女	男 女	学 年 第 三	
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 六 〇				
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 六 〇				
四 〇	四 〇	四 〇	四 〇	八 〇	一 二 〇				

(略)	宮城県松島高等学校	宮城県蔵王高等学校	宮城県鹿島台商業高等学校	宮城県岩ヶ崎高等学校	宮城県築館高等学校	
	普通科	普通科	商業科	普通科 創造工学科	普通科	電気システム科 ム科 電気科 情報技術科 商業科 福祉科
	三年	三年	三年	三年	三年	三年
	男女	男女	男女	男女	男女	男女
	八〇	八〇	一一〇	一一〇	一六〇	四〇
	八〇	一一〇	一一〇	一一〇	一六〇	四〇
八〇	一一〇	一一〇	一一〇	一六〇	四〇	

(略)	宮城県松島高等学校	宮城県鹿島台商業高等学校	宮城県岩ヶ崎高等学校	宮城県築館高等学校	
	普通科	商業科	普通科 創造工学科	普通科	電気システム科 ム科 電気科 情報技術科 商業科 福祉科
	三年	三年	三年	三年	三年
	男女	男女	男女	男女	男女
	八〇	一一〇	一一〇	一六〇	四〇
	八〇	一一〇	一一〇	一六〇	四〇
一一〇	一一〇	一一〇	二〇〇	四〇	

<table border="1"> <tr> <td>宮城県蔵王高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td> </td> <td>一一〇</td> <td>一一〇</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>宮城県角田高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>一六〇</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>宮城県白石高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </table>	宮城県蔵王高等学校	普通科	三年	男女		一一〇	一一〇	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	宮城県角田高等学校	普通科	三年	男女	一六〇			(略)	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇	(略)	<table border="1"> <tr> <td>宮城県志津川高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>八〇</td> <td>一一〇</td> <td>一一〇</td> </tr> <tr> <td>情報ビジネス科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>四〇</td> <td>四〇</td> <td>四〇</td> </tr> </table>	宮城県志津川高等学校	普通科	三年	男女	八〇	一一〇	一一〇	情報ビジネス科	三年	男女	四〇	四〇	四〇	<p>二 単位制による全日制の課程</p>												
	宮城県蔵王高等学校	普通科	三年	男女		一一〇	一一〇																																																	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																		
	宮城県角田高等学校	普通科	三年	男女	一六〇																																																			
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																	
	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇																																																	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																		
宮城県志津川高等学校	普通科	三年	男女	八〇	一一〇	一一〇																																																		
情報ビジネス科	三年	男女	四〇	四〇	四〇																																																			
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 一	収 容 定 員																																																		
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 二																																																			
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 三																																																			

<table border="1"> <tr> <td>宮城県蔵王高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td> </td> <td>一一〇</td> <td>一一〇</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>宮城県白石高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>宮城県白石高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> <td>二四〇</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </table>	宮城県蔵王高等学校	普通科	三年	男女		一一〇	一一〇	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇	(略)	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇	(略)	<table border="1"> <tr> <td>宮城県志津川高等学校</td> <td>普通科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>一一〇</td> <td>一一〇</td> <td>一一〇</td> </tr> <tr> <td>情報ビジネス科</td> <td>三年</td> <td>男女</td> <td>四〇</td> <td>四〇</td> <td>四〇</td> </tr> </table>	宮城県志津川高等学校	普通科	三年	男女	一一〇	一一〇	一一〇	情報ビジネス科	三年	男女	四〇	四〇	四〇	<p>二 単位制による全日制の課程</p>												
	宮城県蔵王高等学校	普通科	三年	男女		一一〇	一一〇																																																	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																		
	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇																																																	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																	
	宮城県白石高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇																																																	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)																																																		
宮城県志津川高等学校	普通科	三年	男女	一一〇	一一〇	一一〇																																																		
情報ビジネス科	三年	男女	四〇	四〇	四〇																																																			
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 一	収 容 定 員																																																		
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 二																																																			
学 校 名	学 科	年 限	修 業 期 限	の 別	学 年 第 三																																																			

別表第二（第一条関係）

一 学年制による定時制の課程

宮城県大河原 商業高等学校	普通科	四年	夜	男女	四〇	四〇	四〇	八〇	学校名	学科	修業年限	昼夜の別	男女の別	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年	収容定員
				(略)														

二 単位制による定時制の課程 (略)

別表第三（第一条関係）

(略)

別表第四（第一条関係）

(略)

別記第一号様式く別記第四号様式 (略)

別表第二（第一条関係）

一 学年制による定時制の課程

宮城県大河原 商業高等学校	普通科	四年	夜	男女	四〇	四〇	八〇	八〇	学校名	学科	修業年限	昼夜の別	男女の別	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年	収容定員
				(略)														

二 単位制による定時制の課程 (略)

別表第三（第一条関係）

(略)

別表第四（第一条関係）

(略)

別記第一号様式く別記第四号様式 (略)

宮城県立高等学校学則の一部改正について（概要）

1 改正の趣旨

「平成28年度県立高等学校組織編制計画」の実施、「平成27年度県立高等学校組織編制計画」及び「平成26年度県立高等学校組織編制計画」の学年進行に係る所要の改正を行うもの。

2 改正の概要

(1) 「平成28年度県立高等学校組織編制計画」関係

○ 全日制の課程

【学科改編】

学校名	学科名	第1学年の収容定員	
角田高等学校	普通科	単位制に移行	4学級(160人)→4学級(160人)
多賀城高等学校	普通科	1学級(40人)減	7学級(280人)→6学級(240人)
	災害科学科	1学級(40人)増	新設

【募集停止】

学校名	学科名	第1学年の収容定員	
岩ヶ崎高等学校(篤沢校舎)	創造工学科	1学級(40人)減	募集停止

【学級減】

学校名	学科名	第1学年の収容定員	
蔵王高等学校	普通科	1学級(40人)減	3学級(120人)→2学級(80人)
気仙沼西高等学校	普通科	1学級(40人)減	3学級(120人)→2学級(80人)
志津川高等学校	普通科	1学級(40人)減	3学級(120人)→2学級(80人)

(2) 「平成27年度及び平成26年度県立高等学校組織編制計画」関係

① 全日制の課程

【再編統合】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
登米総合産業高等学校	農業科・機械科・電気科・商業科・福祉科	各1学級(40人)増	学年進行
	普通科	2学級(80人)減	
	農業技術科・園芸ビジネス科・機械システム科・電気システム科	各1学級(40人)減	
登米高等学校	商業科	1学級(40人)減	募集停止

【学級減】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
角田高等学校	普通科	1学級(40人)減	5学級(200人)→4学級(160人)

学校名	学科名	第3学年の収容定員	
築館高等学校	普通科	1学級(40人)減	5学級(200人)→4学級(160人)
気仙沼高等学校	普通科	1学級(40人)減	7学級(280人)→6学級(240人)

【学科改編】

学校名	学科名	第3学年の収容定員	
松島高等学校	普通科	2学級(80人)減	5学級(200人)→3学級(120人)
	観光科	2学級(80人)増	新設
水産高等学校	海洋総合科	1学級(40人)増	3学級(120人)→4学級(160人)
	情報科学科	1学級(40人)減	募集停止

【学科名称変更】

学校名	学科名	第3学年の収容定員	
石巻工業高等学校	機械制御科	2学級(80人)減	「機械制御科」から「機械科」へ名称変更
	機械科	2学級(80人)増	

② 定時制の課程

【学級減】

学校名	学科名	第3学年の収容定員	
大河原商業高等学校	普通科	1学級(40人)減	2学級(80人)→1学級(40人)

3 施行期日

平成28年4月1日

平成２７年度みやぎ教育の日推進大会の開催について

- 1 目的 「みやぎ教育の日」の趣旨を県民に広めることにより、教育に対する県民の意識を高め、明日の宮城を担う子どもたちを育む。
- 2 日時 平成２７年１１月４日（水） 午後１時３０分から午後４時まで
- 3 会場 ホテル白萩 錦の間
- 4 主催 宮城県教育委員会 みやぎ教育の日推進協議会
- 5 内容
 - (１) 開会あいさつ（宮城県教育委員会、みやぎ教育の日推進協議会）
 - (２) 発表 岩沼市立岩沼中学校 ２年 高橋 怜
「ペイ・フォワードと世界の未来」
JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
2014年度中学の部
最優秀賞 独立行政法人国際協力機構理事長賞 受賞
 - (３) 実践発表 仙台市立南吉成中学校 教諭 鎌田 和之
「中学校と地域が協働する防災教育活動プラン」
パナソニック教育財団 こころを育む総合フォーラム
2014年度 最高賞 全国大賞 受賞
 - (４) アトラクション 塩竈市立第三小学校 郷土芸能クラブ
「鯛釣り舞」
2012年８月 第14回全国こども民族芸能大会に招待出演
 - (５) 講演 演題 「教育の夢と感動・それを支えてくれたもの」
講師 木村 民男氏（石巻専修大学人間学部教授）
 - (６) 閉会あいさつ（みやぎ教育の日推進協議会）

平成２６年度における児童生徒の問題行動等に関する調査〔いじめを除く※〕（宮城県分）の結果について

◇文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」による〔平成27年9月16日公表〕

※ 「いじめ」の調査については、見直しを行っているところであり、文部科学省は10月末に公表を予定しています。

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、児童生徒の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応に繋げていくものとする。

2 調査対象期間

平成26年4月1日～平成27年3月31日

3 調査対象（仙台市を含む国公立小・中学校・高等学校及び中等教育学校在籍児童生徒）

- ① 小学校409校(児童数121,076人)
- ② 中学校217校(生徒数65,039人)
- ③ 高等学校101校(生徒数61,962人)

4 調査結果の概要

(1) 暴力行為

- ア** 小学校では、暴力行為の発生件数、発生学校数、加害児童数が増加している。
- イ** 小学校では、生徒間暴力が大きく増加している。
- ウ** 中学校・高等学校では、暴力行為の発生件数・発生学校数・加害生徒数が減少している。
- エ** 中学校・高等学校では、器物損壊と生徒間暴力が大きく減少している。

① 発生件数・発生学校数・加害児童生徒数

種別	小学校			中学校			高等学校		
	H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較
発生件数(件)	142	90	+52	710	821	-111	116	173	-57
発生学校数(校)	55	43	+12	110	143	-33	50	66	-16
加害児童生徒数(人)	121	81	+40	665	703	-38	135	193	-58

② 形態別発生状況

種別	小学校			中学校			高等学校		
	H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較
対教師暴力(件)	21	15	+6	79	80	-1	13	12	+1
生徒間暴力(件)	91	38	+53	408	432	-24	83	99	-16
対人暴力(件)	1	1	±0	8	12	-4	6	9	-3
器物損壊(件)	29	36	-7	215	297	-82	14	53	-39
計	142	90	+52	710	821	-111	116	173	-57

(2) 不登校

- ア** 小学校・中学校の不登校児童生徒数は増加しているが、高等学校は減少している。
イ 小学校の不登校のきっかけは、「不安など情緒的混乱」, 「親子関係をめぐる問題」等が多い。
ウ 中学校では、「無気力」, 「いじめを除く友人関係をめぐる問題」等が多い。
エ 高等学校では、「無気力」, 「不安など情緒的混乱」等が多い。

① 在籍学校数・不登校児童生徒数・不登校出現率・再登校率

種別	校種	小学校			中学校			高等学校		
		H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較	H26	H25	前年度比較
在籍学校数(校)		199	190	+9	200	180	+20	100	98	+2
不登校児童生徒数(人)		501	490	+11	2,190	2,070	+120	1,258	1,404	-146
不登校出現率*1(%)		0.41	0.40	+0.01	3.37	3.17	+0.2	2.03	2.27	-0.24
再登校率*2(%)	県	33.1	39.2	-6.1	30.5	32.3	-1.8	40.2	37.8	+2.4
	全国	33.2	32.9	+0.3	31.1	29.8	+1.3	35.7	34.2	+1.5

*1: 不登校出現率とは、在籍児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合である。

*2: 再登校率とは、不登校児童生徒のうち同年度内に「指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒数の割合」である。

② 不登校のきっかけ

(小学校)

(複数回答・上位5件)

	不登校のきっかけと考えられる状況	H26 (%)	H25 (%)	前年度比較
1	不安など情緒的混乱	19.5	18.1	+1.4
2	親子関係をめぐる問題	16.7	15.5	+1.2
3	無気力	15.6	11.7	+3.9
4	いじめを除く友人関係をめぐる問題	9.3	10.0	-0.7
5	家庭の生活環境の急激な変化	7.8	8.7	-0.9

(中学校)

(複数回答・上位5件)

	不登校のきっかけと考えられる状況	H26 (%)	H25 (%)	前年度比較
1	無気力	18.9	17.5	+1.4
2	いじめを除く友人関係をめぐる問題	15.6	16.2	-0.5
3	不安など情緒的混乱	14.6	11.3	+3.3
4	親子関係をめぐる問題	8.3	9.2	-0.9
5	学業の不振	7.6	8.1	-0.5

(高等学校)

(複数回答・上位5件)

	不登校のきっかけと考えられる状況	H26 (%)	H25 (%)	前年度比較
1	無気力	27.9	26.1	+1.8
2	不安など情緒的混乱	21.9	17.9	+4.0
3	あそび・非行	9.2	7.4	+1.8
4	いじめを除く友人関係をめぐる問題	8.7	10.8	-2.1
5	入学, 転編入学, 進級時の不適応	6.6	3.6	+3.0

(3) 高等学校中途退学

- ア** 高等学校の中途退学者は前年度に比べ減少している。
イ 「進路変更」や「学校生活・学業不適応」を事由とした中途退学者の割合が多い。

① 中途退学者数及び中途退学率

	高等学校		
	H26	H25	前年度比較
中途退学者(人)	1,136	1,242	-106
中途退学率(%)	1.8	2.0	-0.2

② 事由別中途退学者数の構成比(上位2件)

	高等学校		
	H26	H25	前年度比較
1 進路変更	32.2	28.6	+3.6
2 学校生活・学業不適応	32.0	39.4	-7.4

5 県教委としての対応

今回の調査結果については、震災後4年目の小・中・高等学校の問題行動等の状況を示すものである。全体的には、中学校・高等学校の暴力行為、高等学校の不登校・中途退学は減少したものの、小学校の暴力行為、小学校・中学校の不登校が増加している。これらの問題については、東日本大震災以前からの課題であったが、基本的な生活習慣を形成する上で不可欠である乳幼児期の養育環境が、震災以降、厳しい状況にあることも背景にあると考えられ、これまで以上に問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応への取組の強化を促していかなければならない。

県教育委員会としては、特に日常の教育活動の中心となる授業において、生徒指導を充実させる上からも、「学力向上に向けた5つの提言」に基づいた分かる授業の実践を促していくことで、全ての児童生徒が「行きたくなる学校」づくりを目指していく。更に、学校がチームとして対応できる体制整備、学校間や関係機関との連携の強化を図るとともに、生徒指導上の課題を抱える学校に対して積極的な支援を行っていくために以下のような取組を進めていく。



全ての児童生徒が「行きたくなる学校」づくりを目指す

「学力向上に向けた5つの提言」に基づいた分かる授業の実践

生徒指導の3機能を生かした授業づくりの推進

○自己決定 ○自己存在感 ○共感的人間関係

「志教育」の推進

志教育の視点による授業の充実



「志教育フォーラム2015～志が未来をひらく講演会～」の開催について

「みやぎの志教育」推進の一環として、標記フォーラムを開催し、志教育の実践紹介や志をもつことの大切さを考える講演を行う。

1 目的

広く県民に向けて、著名人による講演やみやぎの先人集「未来への架け橋」を活用した授業実践を報告することで、将来にわたり自らの生き方を主体的に探求する意欲をもつことの大切さを知らせ、道徳教育の充実や志教育の理念の普及・啓発を図る。

2 主催 宮城県教育委員会

3 共催 名取市教育委員会

4 日時 平成27年10月17日（土）午後1時から午後3時45分まで

5 会場 名取市文化会館 中ホール（名取市増田字柳田520）

6 対象 児童生徒，教育関係者，一般県民等

7 内容

(1) 開会行事 13:00～13:20（20分）

- ① 開会宣言
- ② 開会の挨拶（教育長）
- ③ 来賓の挨拶（名取市教育委員会教育長）
- ④ 来賓及び主催者紹介

(2) 実践事例紹介 13:20～14:20（60分）

- ① みやぎの先人集「未来への架け橋」
活用事例紹介・・・気仙沼市立津谷小学校
ア 気仙沼の先人「秀ノ山雷五郎」の先人集DVD上映
イ 上記教材を活用した道徳の授業実践紹介
- ② 「志教育支援事業」推進地区の取組紹介・・・加美町立中新田中学校
ア 加美地区（中新田小学校・中新田中学校・中新田高等学校）の連携の取組

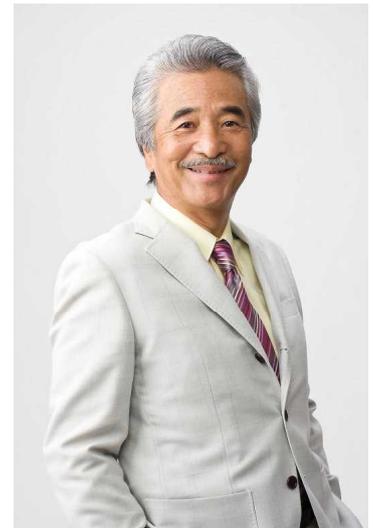
休憩 14:20～14:35（15分）

(3) 講演 14:35～15:35（60分）

- ① テーマ 「志が未来をひらく」（お話と歌）
- ② 講師 さとう 宗幸 氏

(4) 閉会行事 15:35～15:45（10分）

- ① 御礼の挨拶（義務教育課長）
- ② 閉会宣言



【秀ノ山雷五郎】



【中新田地区の実践】

平成２７年度みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城２０１５」

1 目的

専門高校等における学習成果を広く紹介し、魅力的な教育内容について理解・関心を高めるとともに、次代につながる新たな産業教育のあり方を発信する。併せて、大会での発表・体験・交流を通じて、東日本大震災からの復興に寄与する次代を担う産業人・職業人としての意識啓発と志の醸成につなげる機会とする。

2 主催：みやぎ産業教育フェア実行委員会

（宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 宮城県産業教育振興協会）

3 共催：宮城県，仙台市

4 後援：宮城県商工会議所連合会，仙台商工会議所，（一社）宮城県経営者協会，仙台経済同友会，宮城県中小企業団体中央会，宮城県中小企業家同友会，宮城県商工会連合会，（一社）宮城県法人会連合会，宮城県農業協同組合中央会，全国農業協同組合連合会宮城県本部，宮城県漁業協同組合，（株）河北新報社，日本放送協会仙台放送局，（株）東北放送，（株）東日本放送，（株）仙台放送，（株）宮城テレビ，宮城県PTA連合会，宮城県高等学校PTA連合会，宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会，宮城県高等学校校長協会，宮城県特別支援学校長会，宮城県中学校長会，宮城県小学校長会，宮城県私立中学高等学校協会



5 日時

平成２７年１１月７日（土）午前１０時から午後２時まで

- ・開会式 午前１１時から 勾当台公園野外音楽堂
- ・閉会式 午後２時から 勾当台公園野外音楽堂

6 会場

○県庁 1階 県民ロビー，玄関ホール，みやぎ広報室
2階 講堂，講堂ロビー，第二入札室
屋外 正面玄関前駐車・車寄せスペース

○勾当台公園 いこいのゾーン・野外音楽堂



7 参加校

○産業教育に関する専門高校等

①農業 ②工業 ③商業 ④水産 ⑤家庭 ⑥看護 ⑦福祉 ⑧総合学科 ⑨特別支援学校

○参加予定校数及び参加者数

60校，1450名

8 内容

- ①意見・体験発表 : 各専門部研究発表大会等での優秀発表 など
- ②研究発表 : 産業廃棄物の利活用，クリーンエネルギー，震災復興関連 など
- ③作品展示 : 実習製作作品，課題研究作品の展示発表 など
- ④生産物展示・販売 : 実習生産物や開発商品等の販売 など
- ⑤体験・実演 : キッズビジネスタウン，乳牛の乳搾り体験，即席味噌汁作り体験
空気機関車乗車体験，介護予防体操 など
- ⑥その他 : ファッションショー，屋外ステージ交流イベント など

9 来場者数

5万人（想定）



※ 掲載写真は、昨年開催の「全国産業教育フェア宮城大会」の様子です。

平成27年度みやぎ産業教育フェア

さんフェア宮城 2015

開催日 平成27年

11月7日(土)

10時00分～14時00分
(みやぎ教育月間中の開催)

会場

県庁1・2階
県庁正面玄関前
勾当台公園

体験・実演



意見・体験発表

学校生産物展示販売



作品・研究発表

作品展示

共催 宮城県、仙台市

後援

宮城県PTA連合会、宮城県高等学校PTA連合会、宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会、
(一社)宮城県経営者協会、(一社)宮城県法人会連合会、全国農業協同組合連合会宮城県本部、
仙台経済同友会、仙台商工会議所、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県
商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合
中央会、宮城県高等学校長協会、宮城県小学校長会、宮城県中学校長会、宮城県特別支援学
校長会、宮城県私立中学高等学校協会、(株)河北新報社、  仙台放送、  仙台放送、  東日本放送、  テレビ

参加校 (産業教育に関する専門高校等)

農業 工業 商業 水産 家庭 看護 福祉 総合学科 特別支援学校

主催 みやぎ産業教育フェア実行委員会

(宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 宮城県産業教育振興協会)



平成27年度みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城2015」開催日程

会場	日程	内容					
		平成27年11月7日(土)					
		10時	11時	12時	13時	14時	
① 県庁	講堂(2階)			○意見・体験発表 [12:00~13:15] 農業, 工業, 商業, 水産, 家庭	○作品・研究発表 [13:20~13:50] 家庭(ファッショ ンショー)		
	第二入札室(2階)	○体験・実演 水産(ダイビング機材着用, ロープワーク, 魚介類の展示) 家庭(ゆびあみ体験, 三角巾による包帯法体験, 子どもの遊び体験, 即席みそ汁づくり体験)					
	県民ロビー(1階)	○体験・実演 商業(キッズビジネスタウン) (就業体験: 市役所, ハローワーク, 銀行, 税務署, 清掃局, コンビニ, 喫茶店, 新聞社等)					
	玄関ホール(1階)	○作品展示, 学校生産物展示販売 特別支援(フリーナーや木工作品等の展示, パンやクッキー等の販売) ○体験・実演, 作品展示 福祉(介護予防体操, ロコモ予防体操, 学習内容等の展示) 看護(作品展示, 学校紹介等)					
	みやぎ広報室(1階)	○体験・実演 工業(ネームプレート製作, 電子工作LEDかぐや姫, コマ対戦, レゴロボット, ロボコン等)					
② 県庁正面玄関前		○作品展示 学校紹介, 実習風景, 生産物・製作品・販売企画品等紹介 ○学校生産物展示販売 水産(缶詰等) 家庭(トートバッグ, アクリルたわし, シュシュ等の手作り小物) ○体験・実演 工業(エコランカーの展示・体験) 商業(キッズビジネスタウン: 警察, 消防, 自衛隊)					
		③ 勾当台公園	勾当台公園 野外音楽堂	○開会式 オープニング アトラクション [和太鼓部発表](宮農) あいさつ	屋外ステージ交流イベント		○閉会式 表彰 講評
勾当台公園	○作品・研究発表 生産物・製作品・販売企画品等の作品や研究の発表 ○作品展示 学校紹介, 実習風景, 生産物・製作品・販売企画品等紹介 ○学校生産物展示販売 農業(季節の野菜・花等) 工業(実習製作品等) 商業(各種企画品等) ○体験・実演 農業(乳牛の乳しぼり体験, 各校生産米の食べ比べ体験等) 工業(圧縮空気機関車の乗車体験, 自動車の分解組立実演等)						

他にもいろいろやってるよ!
食べ物屋さんもあるよ!!
みんな来てね!



仙台・宮城 観光PRキャラクター
むすび丸

会場案内図



- 公共交通機関を御利用ください。
- 最寄りの駅など
【地下鉄】「勾当台公園駅」下車
【バス】「県庁市役所前」下車

お問合せ
みやぎ産業教育フェア 実行委員会
事務局 (宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班内)
TEL: 022-211-3625
FAX: 022-211-3639
<http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyoku/car-sanfair.html>